

附属機関等会議録

令和4年10月12日

会議の名称	令和4年度 第2回島田市中小企業・小規模企業 振興推進会議
開催日時	令和4年10月4日 10時00分から 11時30分まで
開催場所	島田市役所 第2委員会室
会議の議題	1 開会 2 説明及び意見交換 ・本年度テーマ設定に係る意見照会結果について ・テーマ設定に係る参考資料について ・販路開拓事業費補助金について 3 閉会
会議の公開又は全部若しくは一部の非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開（ <input type="checkbox"/> 全部 ・ <input type="checkbox"/> 一部 ）
会議の全部又は一部の非公開の理由	公開
公開の場合の傍聴人の数	3人
出席者の氏名等	別添資料のとおり
会議の結果	<p>今回の会議は、前回の議論及び前回会議後の意見照会を考慮して、本年度に議論するテーマを決定するものであった。</p> <p>人材確保や育成についての意見が多く見られたので、テーマ設定の参考として人材確保、副業人材活用、専門家派遣に係る資料を事務局から提示して議論を進めた。また、前回会議にて委員から意見のあった販路開拓事業費補助金についても併せて説明した。</p> <p>最終的な決定テーマは、長期的な取組として人材確保・人材育成、短期的な取組として販路開拓とした。</p> <p>委員から挙げた意見や質問（●）と事務局の回答（→）は以下のとおり。</p>

【人材育成・人材確保について】

●本会議委員は、様々な組織や団体から構成されているので、単に補助金施策を考えるのではなく、仕組みづくりをすべきではないか。

●中途採用という観点で、市外に出た方に帰ってきてもらう施策はどうか。

●副業人材の活用はおもしろい取組だが、どの程度企業に入り込んで働いてもらうかの調整など、副業人材活用について知ることが大事。

●企業PRとして、パンフレットやチラシでも効果がないわけではないが、今の時代は動画作成の方がうまくPRできる。より効果的なものに方向付けすることも支援ではないか。

●人材確保について、他自治体の補助制度が挙げられている。時間がかかるかもしれないが、実績や評価について十分な調査を経て支援策を考えた方がよい。

●合同説明会に出る、チラシを作成するといった取組だけでは、人材確保には繋がらない。教育の一環という形で、地元を好きになってもらい将来に繋げるために、地元に着した取組としてはどうか。

●人材確保には、高卒、大卒、副業人材、退職した方（再雇用を目指す方）など様々なカテゴリーがあって、それぞれの目線で考えるというのもあると思う。

●中学生の職業感は、将来の夢に憧れの職業を挙げるといったレベルだが、高校生になると進学か就職かを選択する必要性からも、働くことをより身近に感じてもらえる。その場合、単なる求人情報だけでなく、企業のリアルな情報が入ってきた方が良いのではないか。

●補助金がすべてではなく、その先の成果が大切なのではないか。効果があったものとないものを検証し、良い点を参考にして実施することと効果を検証することが大切ではないか。

●普通科の高校でなくても、半数が進学を希望している学校がある。高校生でも地元どんな企業があるかわかっていないのが現状。高校生が何を求めているかを吸い上げ、それを企業から発信していけば地元企業を認識してもらえるのではないか。

●自社で実施する職場体験を経て、後に同業者になったり、お客様として帰ってきてくれたりしたことがある。継続していけば会社のことを紹介できるのではないか。

●企業がアピールできる場がなく、企業見学のような場を作った方が良いと思う。小中学生で職業観や将来の考えがあまりない場合でも、経験値として自分の財産になる。

●商店街全体においては、人材確保はテーマとしてあてはまるようなものでない。

【販路開拓事業費補助金】

●オンラインを含めた商談会や展示会が増えてきている。オンライン開催でも、通信料やサンプル等に費用がかかるので、そこを補助できるのではないか。

●単独の出展ではなく、複数の事業者が共に出展するという形も認めた場合、事業者も出展していきやすいのではないか。

●一度廃止された補助金を復活させることは難しいと思うが、どう考えているか

→ コロナ禍の令和元年から令和2年にかけて、展示会自体が開催されないという状況に伴い、申請件数が激減したこと、市としても新型コロナ対策

	<p>等で必要性の高い事業にシフトするための予算措置とが影響してこのような状況になった。産業支援センターでもこの補助金の実施有無の問い合わせがあり、事業者からの貴重な意見を聞いて進めていきたい。</p> <p>● 販路開拓を広く捉えてはどうか。例えば今の時代は、若者がTikTokのようなSNS動画を見る機会が多い。そのため、動画作成についても補助するという形の方が、使い勝手が良くなるのではないか。</p> <p>長期的な視点で「人材確保・育成」に取り組むこととし、販路拡大の補助金についても具体案を提示することとして閉会した。</p>
提出された資料等	別添資料のとおり
会議を所管する課の名称	産業経済部 商工課
その他必要な事項	